


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子ども達に願うこと	・運動支援に興味を持つ。	・体の動かし方がわかるようになる。	・諦めずに取り組む。	・ポイントを意識しながら、楽しんで体を動かす。	・一つ一つの動きの意味を知り、体を動かす。	・運動会に向けて友達と力を合わせて取り組む。	・運動会ではみんなで力を合わせ自信を持って取り組む。	・ポイントを意識しながら楽しんで体を動かす。	・大なわとびを友達と一緒に楽しむ。	友だちと一緒に体を動かす楽しさを知る。	友だちと一緒に体を動かす楽しさを知る。	自信を持って体を動かす。
廊下 ホール リズム室	①リズム室・トイレなど移動時に、くまさん歩き片足くまさん、わにさん、カンガルー跳び ②膝に帽子を挟んでカンガルー跳び	①② 	①② ③廊下に線路(くまさん歩き、片足くまさん) ④くもの巣(くもの巣くまさん、わにさん、カンガルー跳び)	①②③④ ⑤うしがえる跳び箱 	①②③④⑤ 	①②③④⑤ ⑥ごっこ遊びを取り入れた組体操 組立体操 ロケット ⑦親子で運動遊び	①②③④⑤ ⑧サーキット遊び ⑨カンガルー跳び(カードを膝に挟む) ⑩大縄跳び	①②③④⑤⑧⑨⑩ ⑪ゲーパーカンガルー跳び	①②③④⑤⑧⑨⑩⑪ ⑫短縄	①②③④⑤⑧⑨⑩⑪⑫	①②③④⑤⑧⑨⑩⑪⑫	①②③④⑤⑧⑨⑩⑪⑫
保育室	①ジャンケンゲーム	① ②くもの巣 側転	①② ③トーマスクマさん	①②③ ④跳び箱・鉄棒を	①②③④	①②③④ ⑤ごっこ遊びを取り入れた組体操 ⑥親子で運動遊び ⑦ピラミッド	①②③④⑤⑥⑦	①②③④	①②③④⑤	①②③④	①②③④	①②③④
園庭	①園庭への移動時にカンガルー跳び	① ②鉄棒(りんごぶら下がり)	①② 	①② ③くもの巣	①②③ ④側転 目印のライン	①②③④ ⑤ごっこ遊びを取り入れた組体操	①②③④⑤ 	①②③④⑤ 	①②③④⑤ ⑥逆上がり	①②③④⑤ ⑦連続逆上がり	①②③④⑤⑦	①②③④⑤⑦
配慮 保育士の関わり	・毎日の遊びや生活の中に運動を取り入れる。 ・体の動かし方のポイントを具体的に知らせる。 ・膝が離れないように帽子を挟んでみる。	・くまさん歩きをしっかりと行う。 ・体操や遊びの終わりに鉄棒を取り入れる。 ・励まし、できたことを褒める。	・保育士が見本となるように一緒にを行い、目の向け方や顎の上げ方を知らせる。	・苦手意識がある子には1対1で関わり、できたことを褒めながら自信につなげていく。 ・どうやるとできるかを知らせるようにする。 ・利き足を確認する。	・両手をしっかりとつけること、顔を下げないことが意識できるように声をかけた。 ・どうやったらきれいな側転ができるか、動きを確認する。	・親子遠足で親子で運動遊びをする(運動会で発表する) ・異年齢児と関わりを持ち、できることを発表する場を持った。	・サーキット遊びを取り入れ、いろいろな運動ができるようにする。 ・日替わりでいろいろな動物に変身して動く。	・やりたくない様子が見られるときには、無理せず様子を見ながら声をかける。 ・一人ひとりに合わせて、動きのポイントを伝える。	・寒くなり体を動かすことが減らないように、用具の設定をする。 ・継続して行うようにする。 ・短縄も楽しめるよう、朝の時間に取り入れる。	・苦手な動きを意識してできるように声をかける。 ・寒さで体を動かすことを嫌がる姿もあるので、意図的に動けるようにする。	・参観日で一年間の成果を保護者の方に見てもらう。 ・柳澤先生に親子でできる運動を教えたいいただく。	・いつでも体を動かせるように用具を設定したり、活動の移動時に動きを取り入れたりする。
子どもの変化	・うまくできないこともあるが、できるようになりたいと思う。	・できるようになりたい気持ちが大きくなるが思うようにならない。	・生活や遊びの中に運動遊びをやる機会が増えたことにより、遊び感覚で楽しんで動いている。	・体を支える力がつき、側転や跳び箱ができるようになってきた。 ・体の動かし方が分かってきた。	・芝生の園庭で行うことで恐怖心がなくなり、思い切って側転をしていた。 ・友達と教えあう、誘い合って遊ぶなどかわりが増える。	・できるようになったことが嬉しく、いろいろな場所で動いている。 ・異年齢児に見てもらいたいという意欲や自信につながった。	・できることが増え、園内のいろいろな場所で、側転をする姿や、鉄棒で遊ぶ姿があり、自分からくまさん歩き、片足くまさんなどしている。	・体がしっかりしてきたので、動くことを楽しんでいく。 ・できないからやらなくてもいいではなく、励まされながらやってみようとする。	・跳び箱が跳べない子がいるが、やりたくないということはなく、何度も挑戦している。 ・友達のやっているところをよく見ている。	・保育室や廊下など、身近な場所で動くことができるので、自然にやりたくなる。 ・友達と関わるのが難しくなった子も、関われるようになってきた。	・お家の方に見てもらったことで、自信になりさらに動くことを楽しんでいる。 ・自ら廊下で側転をしたり、片足くまやわにをしたりする姿がある。	・体を動かすことができるようになり、メリハリのある生活ができるようになった。